

ネヘミヤの 書

1 ハカリヤの子ネヘミヤの言葉。

第二十年のキスレブの月に、私がスサの宮殿にいたときのことである。

2 私の兄弟の一人ハナニが、数人の者とともにユダからやって来た。私は、捕囚を免れて生き残ったユダヤ人たちの様子と、エルサレムのことを彼らに尋ねた。

3 彼らは私に言った。「捕囚を生き残り、あの州に残っている者たちは、大きな苦難と恥辱の中にあります。エルサレムの城壁は崩れ、その門は火で焼かれたままです。」

4 この言葉を聞くと、私は座り込んで泣き、幾日も悲しみ、天の神^{*}の前で断食して祈った。

5 私は言った。「ああ、主[†]よ。天の神、偉大で恐るべき神よ。あなたを愛し、その戒めを守る者に、契約と慈しみを守られる神よ。

6 どうか耳を傾け、目を開いて、私が今、昼も夜もあなたの前で、あなたのしもべイスラエルの子らのためにささげている祈りを聞いてください。私は、私たちイスラエルの子らがあなたに対して犯した罪を告白する。まことに、私も父の家も罪を犯した。

^{*} **1:41:4** 「神」と訳されたヘブル語は「אֱלֹהִים」（エロヒム）である。

[†] **1:51:5** すべて大文字の「主」または「神」は、ヘブル語のיְהוָה（ヤハウェ）から来て

7 私たちはあなたに対して甚だしく腐敗した行いをし、あなたがしもべモーセに命じられた戒めも、掟も、定めも守らなかった。

8 「どうか、あなたがしもべモーセに命じられた言葉を思い出してください。『あなたがたが背くなら、わたしはあなたがたを諸国の民の間に散らす。』

9 しかし、わたしに立ち返り、わたしの戒めを守って行うなら、たとえ追放された者が天の果てにいても、わたしはそこから彼らを集め、わたしの名を住まわせるために選んだ場所へ連れて来る。』

10 「彼らこそ、あなたが大いなる力と力強い御手によって贖われた、あなたのしもべ、あなたの民。」

11 主 ‡ よ、どうか、あなたのしもべの祈りと、あなたの名を恐れることを喜ぶしもべたちの祈りに耳を傾けてください。今日、あなたのしもべを成功させ、この人の前であわれみを受けさせてください。」

さて、私は王の献酌官であつた。

2

1 アルタクセルクセス王の第二十年、ニサンの月に、王の前にぶどう酒が置かれた。私はぶどう酒を取り、王に差し出した。それまで、王の前で悲しそうな顔をしたことはなかった。

2 王は私に言った。「あなたは病気ではないのに、なぜ悲しそうな顔をしているのか。これは心の悲しみにほかならない。」

そこで、私は非常に恐れた。

‡ 1:11 1:11 「主」と訳された言葉は「アドナイ」である。

³ 私は王に言った。「王がとこしえに生きられますように。私の先祖の墓のある町が荒れ果て、その門が火で焼かれたままなのです。どうして悲しそうな顔をせずにいられましょうか。」

⁴ すると、王は私に言った。「あなたは何を求めているのか。」

そこで私は天の神に祈った。

⁵ 私は王に言った。「もし王がよしとされ、このしもべが王のご好意を得ているなら、どうか私をユダへ、先祖の墓のある町へ遣わし、そこを再建させてください。」

⁶ 王は私に言った。王妃も王のそばに座っていた。「旅にはどれほどかかるのか。いつ戻るのか。」

王は私を遣わすことをよしとされ、私は期限を申し上げた。

⁷ さらに私は王に言った。「もし王がよしとされるなら、私がユダに着くまで通行を許すよう、川の向こう側の総督たちへの手紙をお与えください。」

⁸ また、神殿のそばの要塞の門、町の城壁、そして私が住む家の梁に用いる木材を与えるよう、王の森林の管理者アサフへの手紙もお与えください。」

私の神の恵み深い御手が私の上にあったので、王は私の願いを聞き入れた。

⁹ 私は川の向こう側の総督たちのもとへ行き、王の手紙を渡した。王は軍の隊長たちと騎兵を私とともに遣わしていた。

¹⁰ ホロニ人サンバラテと、アモン人の役人トビヤはこれを聞き、イスラエルの子らの繁栄を図る者が来たことを、ひどく不快に思った。

¹¹ こうして私はエルサレムに着き、そこに三日間滞在した。

12 私は夜、数人の者ととともに起き出した。私の神がエルサレムのために行うよう私の心に与えられたことを、だれにも話していなかった。私が乗っていた動物のほかには、一頭も連れていなかった。

13 私は夜、谷の門を出て、ジャッカルの井戸から糞の門へ進み、崩れたエルサレムの城壁と、火で焼け落ちた門を調べた。

14 それから泉の門と王の池へ進んだが、私の乗っていた動物が通れる場所がなかった。

15 そこで私は夜のうちに谷川沿いに上って城壁を調べ、引き返して谷の門から入り、戻った。

16 役人たちは、私がどこへ行き、何をしたかを知らなかった。私はまだ、ユダヤ人にも、祭司にも、貴族にも、役人にも、その他の工事に携わる者にも、そのことを話していなかった。

17 そこで私は彼らに言った。「私たちが置かれている惨状を、あなたがたは見ている。エルサレムは荒れ果て、その門は火で焼かれている。さあ、エルサレムの城壁を建て直し、もはや恥を受けないようにしよう。」

18 私は、私の上にあった神の恵み深い御手のことと、王が私に語った言葉を彼らに告げた。

彼らは「立ち上がって建てよう」と言い、この良い働きのために力を奮い起こした。

19 しかし、ホロニ人サンバラテ、アモン人のしもベトビヤ、アラビア人ゲシエムがそれを聞いたとき、彼らは私たちを嘲笑し、見下して言った。「あなたがたがしているこのことは何だ。王に反逆しようとしているのか。」

20 私は彼らに答えた。「天の神が私たちを栄えさせてくださる。そのしもべである私たちは立ち上が

って建てる。しかし、あなたがたにはエルサレムに何の分け前も、権利も、名を残す記録もない。」

3

1 大祭司エリアシブは、兄弟である祭司たちとともに立ち上がり、羊の門を建てた。彼らはそれを聖別し、扉を取り付け、ハメアのやぐらからハナネルのやぐらまでを聖別した。

2 彼の隣では、エリコの人々が建てた。彼の隣では、イムリの子ザクルが建てた。

3 魚の門はハセナアの子らが建てた。彼らは梁を渡し、扉、かんぬき、横木を取り付けた。

4 彼らの隣では、ハコツの子であるウリヤの子メレモテが修復を行った。彼らの隣では、メシエザベるの子であるベレクヤの子メシュラムが修復を行った。彼らの隣では、バアナの子ザドクが修復を行った。

5 その隣ではテコア人が修復した。しかし彼らの貴族たちは、主の働きに肩を入れようとしなかった。

6 古い門はパセアの子ヨヤダと、ベソデヤの子メシュラムが修復した。彼らは梁を渡し、扉、かんぬき、横木を取り付けた。

7 その隣では、ギベオン人メラテヤ、メロノテ人ヤドン、ギベオンとミツパの人々が、川の向こう側の総督の官邸までを修復した。

8 その隣では、金細工人の一人、ハルハヤの子ウジエルが修復した。その隣では、香料作りの一人ハニヤが修復し、彼らは広い城壁までエルサレムを補強した。

9 彼らの隣では、エルサレムの半区の支配者であるフルの子レファヤが修復を行った。

10 彼らの隣では、ハルマフの子エダヤが自分の家の向かい側を修復した。彼の隣では、ハシャブネヤの子ハトシュが修復を行った。

11 ハリムの子マルキヤとパハテ・モアブの子ハシュブは、別の区画とかまどのやぐらを修復した。

12 彼の隣では、エルサレムの半区の支配者であるハロヘシュの子シャルムが、娘たちとともに修復を行った。

13 谷の門はハヌンとザノアの住民が修復した。彼らはこれを建て、扉、かんぬき、横木を取り付け、さらに糞の門までの城壁一千キュビト^{*}を修復した。

14 糞の門は、ベテ・ハケレムの地区の支配者、レカブの子マルキヤが修復した。彼はこれを建て、扉、かんぬき、横木を取り付けた。

15 泉の門は、ミツパの地区の支配者、コル・ホゼの子シャルンが修復した。彼はこれを建てて屋根を設け、扉、かんぬき、横木を取り付けた。また、王の園のそばにあるシェラの池の城壁を、ダビデの町から下る階段まで修復した。

16 その後では、ベテ・ツルの半地区の支配者、アズブクの子ネヘミヤが、ダビデの墓の向かい側から、造られた池と勇士たちの家までを修復した。

17 その後では、レビ人バニの子レフムが修復した。彼の隣では、ケイラの半区の支配者ハシャビヤが、自分の区のために修復した。

18 その後では、彼らの兄弟である、ケイラのもう半地区の支配者、ヘナダデの子バワイが修復した。

^{*} 3:133:13 一キュビトは約46センチメートル、または約18インチである。

19 その隣では、ミツパの支配者エシュアの子エゼルが、城壁の曲がり角にある武器庫への上り口の向かい側の、別の区画を修復した。

20 彼の後では、ザバイの子バルクが、城壁の曲がり角から大祭司エリアシブの家の戸口に至るまでの別の区画を、熱心に修復した。

21 彼の後では、ハコツの子であるウリヤの子メレモテが、エリアシブの家の戸口からエリアシブの家の端に至るまでの、別の区画を修復した。

22 その後では、周辺地域に住む祭司たちが修復した。

23 彼らの後では、ベニヤミンとハシュブが自分たちの家の向かい側を修復した。彼らの後では、アナニヤの子であるマアセヤの子アザルヤが自分の家のそばを修復した。

24 その後では、ヘナダデの子ビヌイが、アザルヤの家から城壁の曲がり角を経て、角までの別の区画を修復した。

25 ウザイの子パラルは、城壁の曲がり角の向かい側と、監視の庭のそばにある王宮の上部から突き出したやぐらの向かい側を修復した。その後では、パロシュの子ペダヤが修復した。

26 (宮のしもべたちは、東向きの水の門の向かい側から、突き出たやぐらのところまでのオフエルに住んでいた。)

27 彼らの後では、テコア人が突き出ている大きなやぐらの向かい側から、オフエルの城壁に至るまでの別の区画を修復した。

28 馬の門の上からは、祭司たちがそれぞれ自分の家の向かい側を修復した。

29 彼らの後では、イムルの子ザドクが自分の家の向かい側を修復した。彼の後では、東の門の門衛であるシェカニヤの子シエマヤが修

復を行なった。

³⁰ 彼の後では、シェレミヤの子ハナニヤと、ザラフの第六子ハヌンが別の区画を修復した。彼の後では、ベレクヤの子メシュラムが自分の部屋の向かい側を修復した。

³¹ その後では、金細工人の一人マルキヤが、ハミフカデの門の向かい側から角の上り口まで、宮のしもべたちと商人たちの家の方へ向かって修復した。

³² 角の上り口と羊の門の間は、金細工人と商人たちが修復した。

4

¹ サンバラテは、私たちが城壁を建てていると聞くと怒り、激しく憤って、ユダヤ人を嘲笑した。

² 彼は仲間とサマリアの軍隊の前で言った。「あの弱々しいユダヤ人たちは何をしているのか。自分たちで防備を整えるつもりか。いけにえをささげるつもりか。一日で仕上げるつもりか。焼けた瓦礫の山から石を生き返らせるつもりか。」

³ アモン人トビヤが彼のそばにいて言った。「彼らが建てているものは、狐が上っても、その石垣を崩してしまうだろう。」

⁴ 「私たちの神よ、耳を傾けてください。私たちは侮られています。彼らのそしりを彼ら自身の頭に返し、捕囚の地で略奪に渡してください。」

⁵ 彼らの咎を覆わず、その罪を御前からぬぐい去らないでください。彼らは建てる者たちを侮辱したのです。」

⁶ こうして私たちは城壁を建てた。城壁全体は高さの半分までつながった。民には働く意欲があったからである。

⁷ しかし、サンバラテ、トビヤ、アラビア人、アモン人、アシュドド人たちは、エルサレムの城

壁の修復が進み、破れ口がふさがれ始めたと聞いて、非常に怒った。

⁸そして彼らは皆、エルサレムに来て戦い、私たちの間に混乱を引き起こそうと共謀した。

⁹しかし私たちは神に祈り、彼らに備えて昼も夜も見張りを立てた。

¹⁰ユダの人々は言った。

「荷を担う者の力は衰え、瓦礫は多い。これでは城壁を建て続けられない。」

¹¹敵は言った。「彼らが気づきも見もしないうちに、その中へ入り込み、彼らを殺して工事をやめさせよう。」

¹²敵の近くに住むユダヤ人たちが来て、あらゆる方角から十回も、「どこへ向かっても、彼らは私たちを襲って来ます」と告げた。

¹³そこで私は、城壁の後ろの低い場所、開けた所に、民を家族ごとに配置し、剣、槍、弓を持たせた。

¹⁴私は見渡し、立ち上がって、貴族、役人、その他の民に言った。「彼らを恐れてはならない。偉大で恐るべき主を覚え、兄弟、息子、娘、妻、家のために戦え。」

¹⁵私たちの敵は、それが私たちに知られたことと、そして神が彼らの企てを無に帰されたことを聞いた。こうして私たちは皆、城壁に戻り、それぞれ自分の仕事について。

¹⁶そのとき以来、私のしもべの半数は工事をし、半数は槍、盾、弓、鎧を手にした。指揮官たちはユダの民全体の背後に控えた。

¹⁷城壁を建てる者も、荷を担って運ぶ者も、片手で仕事をし、もう一方の手に武器を持った。

¹⁸建てる者たちは皆、腰に剣を帯びて建てた。角笛を吹き鳴らす者は私のそばにいた。

19 私は貴族、役人、その他の民に言った。「工事は大きく、広い範囲に及び、私たちは城壁の上で互いに遠く離れている。

20 どこであれ角笛の音を聞いたなら、そこへ、私たちのもとへ集まれ。私たちの神が私たちのために戦ってくださる。」

21 こうして私たちは工事を続け、民の半数は夜明けから星が現れるまで槍を手にした。

22 そのころ私は民に言った。「それぞれ、しもべとともにエルサレムの中に泊まれ。夜は私たちの見張りとなり、昼は働くためである。」

23 私も、兄弟たちも、しもべたちも、私に従う見張りの者たちも、衣服を脱がなかった。水を汲みに行くときも、皆が武器を携えた。

5

1 民とその妻たちから、同胞であるユダヤ人に対して、大きな叫びが上がった。

2 ある者たちは言った。「私たちには息子や娘が大勢いる。食べて生きるために、穀物を得させてほしい。」

3 またある者たちは言った。「飢饉のために穀物を得ようと、畑、ぶどう園、家を抵当に入れている。」

4 さらにある者たちは言った。「王への貢ぎ物を納めるため、畑とぶどう園を担保にして金を借りた。」

5 今、私たちも同胞も同じ血肉であり、私たちの子どもも彼らの子どもと同じだ。見よ、* 私たちは息子や娘を奴隷として差し出し、娘たちの中には、すでに奴隷にされた者もいる。畑やぶど

* 5:55:5 「見よ」はヘブル語の「הִנֵּה」に由来し、「見なさい」「注目せよ」などの意

う園がほかの人々のものとなった今、私たちにはどうする力もない。」

⁶ 彼らの叫びとこれらの言葉を聞いたとき、私は非常に怒った。

⁷ 私はよく考えた上で、貴族と役人を責めて言った。「あなたがたは同胞から利息を取り立てている。」そして彼らに対して大集会を召集した。

⁸ 私は彼らに言った。「私たちは力の及ぶ限り、諸国の民に売られた同胞ユダヤ人を買戻してきた。それなのに、あなたがたは同胞を売ろうというのか。今度は私たちが彼らを買戻さなければならぬのか。」彼らは黙り、返す言葉もなかった。

⁹ 私はさらに言った。「あなたがたのしていることは良くない。敵である諸国の民のそしりを受けないためにも、私たちの神を恐れて歩むべきではないか。」

¹⁰ 私も、兄弟たちも、しもべたちも、彼らに金や穀物を貸している。私たちも、この利息を免除しよう。

¹¹ 今日、彼らの畑、ぶどう園、オリーブ園、家を返しなさい。あなたがたが取り立てている金、穀物、新しいぶどう酒、油の百分の一も返しなさい。」

¹² すると彼らは言った。「私たちはそれらを返し、彼らには何も求めません。あなたの言うとおりにします。」

そこで私は祭司たちを呼び、この約束のとおり
に彼らが行うことを誓わせた。

¹³ 私はまた衣の懷を振り払い、言った。「この約束を果たさない者を、神がこのように、その家と働きの実から振り払われるように。その者がこのように振り払われ、空にされるように。」

会衆は皆「アーメン」と言って主をほめたたえ、民はこの約束のとおりに行った。

14 私がユダの地で総督に任命されたときから、すなわちアルタクセルクセス王の第二十年から第三十二年までの十二年間、私も兄弟たちも、総督に支給される食糧を受けなかった。

15 私より前の総督たちは民に重い負担を負わせ、パンとぶどう酒のほか、銀四十シェケル[†]を取り立てた。そのしもべたちさえ民に威張った。しかし私は神を恐れ、そのようにはしなかった。

16 私はこの城壁の工事にも力を尽くした。私たちは土地を一つも買わず、私のしもべたちも皆、工事に集まった。

17 また、私の食卓には、ユダヤ人と役人たち百五十人のほか、私たちの周囲の諸国の民の中から私たちのもとに來た者たちがいた。

18 一日に用意されたのは、雄牛一頭と選り抜きの羊六頭であった。鳥も用意され、十日に一度はあらゆる種類のぶどう酒が豊かに備えられた。それでも私は総督の俸禄を要求しなかった。この民に課せられた労役が重かったからである。

19 私の神よ、私がこの民のために行ったすべての良いことを覚え、私に恵みを施してください。

6

1 さて、私が城壁を建て、そこに破れ口が残っていないということが、サンバラテ、トビヤ、アラビヤ人ゲシエム、そして私たちの他の敵に報告されたとき（もつとも、そのときまで私は門に扉を取り付けていなかったが）、

[†] 5:15 5:15 一シェケルは約10グラム、または約0.35オンスである。

² サンバラテとゲシエムは私に使いを送り、「来て、オノの平野の村の一つで会おう」と言った。しかし彼らは私に危害を加えようと企んでいた。

³ 私は彼らに使者を送って言った。「私は大きな工事をしているので、下って行けない。私が工事を離れてあなたがたのもとへ下れば、なぜ工事を止めてよいだろうか。」

⁴ 彼らは四度も同じように私に使いを送り、私も同じように答えた。

⁵ 五度目に、サンバラテは同じように自分のしもべを遣わし、その手に封をしていない手紙を持たせた。

⁶ そこにはこう書かれていた。「諸国の民の間で、あなたとユダヤ人が反逆を企てていると報告され、ガシウムもそう言っている。そのために城壁を建てているというのだ。この報告によれば、あなたは彼らの王になろうとしている。」

⁷ また、『ユダに王がいる』と、エルサレムであなたについて宣言する預言者たちを任命したという。この話は王に報告されるだろう。だから今、来て、ともに協議しよう。」

⁸ 私は彼に人を遣わして言った。「あなたの言うようなことは起きていない。あなたが自分の心で作上げたのだ。」

⁹ 彼らは皆、「彼らの手は工事から離れ、完成でなくなる」と考え、私たちを恐れさせようとしていた。しかし今、私の手を強めてください。

¹⁰ 私は、家に閉じこもっていた、メヘタベルの子デラヤの子シエマヤの家へ行った。彼は言った。「神の家、神殿の中で会い、神殿の扉を閉じよう。彼らがあなたを殺しに来る。夜にあなたを殺しに来るからだ。」

11 私は言った。「私のような者が逃げるだろうか。私のような者で、命を救うために神殿に入る者がいるだろうか。私は入らない。」

12 私は見抜いた。神が彼を遣わしたのではない。彼が私に向かってこの預言を語ったのは、トビヤとサンバラテが彼を雇ったからであった。

13 彼が雇われたのは、私を恐れさせ、そのように行わせて罪を犯させ、私をそしめるための悪評の種を得るためであった。

14 「私の神よ、トビヤとサンバラテを、その行いに応じて覚えてください。女預言者ノアデヤと、私を恐れさせようとしたほかの預言者たちをも覚えてください。」

15 こうして城壁はエルルの月の二十五日に、五十二日で完成した。

16 敵が皆これを聞くと、周囲のすべての国々は恐れ、ひどく意気消沈した。この工事が私たちの神によって成し遂げられたことを悟ったからである。

17 そのころ、ユダの貴族たちはトビヤにしきりに手紙を送り、トビヤからも彼らに手紙が届いていた。

18 ユダには彼に誓約した者が多くいたからである。彼はアラの子シェカニヤの婿であり、彼の息子エホハナンはベレクヤの子メシュラムの娘を妻として迎えていた。

19 彼らは私の前でトビヤの美点を語り、私の言葉を彼に伝えた。トビヤは私を恐れさせるため、手紙を送り続けた。

7

1 城壁が建て上げられ、私が扉を取り付けると、門衛、歌うたい、レビ人がそれぞれ任命された。

²私は兄弟ハナニと、要塞の長官ハナニヤに、エルサレムの管理を任せた。ハナニヤは忠実な人で、人一倍神を恐れていたからである。

³私は彼らに言った。「日が高くなるまでは、エルサレムの門を開けてはならない。門衛が持ち場に
いるうちに扉を閉じ、かんぬきを掛けよ。また、エルサレムの住民から見張りを任命し、それぞれ
を持ち場に就かせ、自分の家の近くを守らせよ。」

⁴町は広く大きかったが、その中に住む民は少なく、家々もまだ建てられていなかった。

⁵私の神は、貴族、役人、民を集め、系図に登録することを私の心に示された。私は最初に上つて来た者たちの系図の書を見つけ、そこに次のように記されているのを見た。

⁶州の人々のうち、バビロンの王ネブカドネザルによって捕らえ移され、その後そこから上つて来て、エルサレムとユダのそれぞれ自分の町へ帰った者たちは次のとおりである。

⁷彼らはゼルバベル、エシュア、ネヘミヤ、アザルヤ、ラアミヤ、ナハマニ、モルデカイ、ビルシャン、ミスペレテ、ビグワイ、ネフム、バアナとともに来た。

イスラエルの民の男たちの数：

⁸パロシュの子ら、二千百七十二人。

⁹シェファテヤの子ら、三百七十二人。

¹⁰アラの子ら、六百五十二人。

¹¹パハテ・モアブの子ら、すなわちエシュアとヨアブの子ら、二千八百十八人。

¹²エラムの子ら、千二百五十四人。

¹³ザトの子ら、八百四十五人。

¹⁴ザッカイの子ら、七百六十人。

¹⁵ビヌイの子ら、六百四十八人。

¹⁶ベバイの子ら、六百二十八人。

- 17 アズガドの子ら、二千三百二十二。
18 アドニカムの子ら、六百六十七。
19 ビグワイの子ら、二千六十七。
20 アディンの子ら、六百五十五。
21 アテルの子ら、すなわちヒゼキヤの家系、九十八。
22 ハシュムの子ら、三百二十八。
23 ベザイの子ら、三百二十四。
24 ハリフの子ら、百十二。
25 ギベオンの人々、九十五。
26 ベツレヘムとネトファの人々、百八十八。
27 アナトテの人々、百二十八。
28 ベテ・アズマベテの人々、四十二。
29 キルヤテ・エアリム、ケフィラ、ベエロテの人々、七百四十三。
30 ラマとゲバの人々、六百二十一。
31 ミクマスの人々、百二十二。
32 ベテルとアイの人々、百二十三。
33 もう一つのネボの人々、五十二。
34 もう一つのエラムの子ら、千二百五十四。
35 ハリムの子ら、三百二十。
36 エリコの子ら、三百四十五。
37 ロド、ハデイド、オノの子ら、七百二十一。
38 セナアの子ら、三千九百三十。

39 祭司たち：エシュアの家のエダヤの子ら、九百七十三。
40 イムルの子ら、千五十二。
41 パシュフルの子ら、千二百四十七。
42 ハリムの子ら、千十七。

43 レビ人：ホデワの家系である、エシュアとカドミエルの子ら、七十四。

44 歌うたいたち：アサフの子ら、百四十八人。
45 門衛：シャルムの子ら、アテルの子ら、タルモンの子ら、アクブの子ら、ハティタの子ら、シヨバイの子ら、百三十八人。
46 宮のしもべたち：ツイハの子ら、ハスファの子ら、タバオテの子ら、
47 ケロスの子ら、シアの子ら、パドンの子ら、
48 レバナの子ら、ハガバの子ら、サルマイの子ら、
49 ハナンの子ら、ギデルの子ら、ガハルの子ら、
50 レアヤの子ら、レツインの子ら、ネコダの子ら、
51 ガザムの子ら、ウザの子ら、パセアの子ら、
52 ベサイの子ら、メウニムの子ら、ネフシェシムの子ら、
53 バクブクの子ら、ハクファの子ら、ハルフルの子ら、
54 バツリテの子ら、メヒダの子ら、ハルシャの子ら、
55 バルコスの子ら、シセラの子ら、テマの子ら、
56 ネットィアの子ら、ハティファの子ら。
57 ソロモンのしもべたちの子ら：ソタイの子ら、ソフェレテの子ら、ペリダの子ら、
58 ヤアラの子ら、ダルコンの子ら、ギデルの子ら、
59 シェファテヤの子ら、ハティルの子ら、ポケレテ・ハツェバイムの子ら、アモンの子ら。
60 宮のしもべたちとソロモンのしもべたちの子らは、合わせて三百九十二人であった。
61 テル・メラ、テル・ハルシャ、ケルブ、アドン、イムルから上って来た者たちは次のとおりである。しかし彼らは、自分たちの父の家と血筋*がイスラエルに属することを示せなかった。

* 7:61 7:61 または「種」。

62 デラヤの子ら、トビヤの子ら、ネコダの子ら、六百四十二人。

63 祭司のうちでは、ホバヤの子ら、ハコツの子ら、バルジライの子ら。このバルジライは、ギルアデ人バルジライの娘の一人を妻に迎え、その家の名で呼ばれるようになった。

64 これらの者は系図の記録を探したが、見つからなかった。そのため資格がないとされ、祭司の務めから退けられた。

65 総督は彼らに、ウリムとトンミムを用いて仕える祭司が立つまで、最も聖なるものを食べてはならないと告げた。

66 会衆は皆合わせて四万二千三百六十人であった。

67 このほかに、男女の奴隷が七千三百三十七人おり、歌う男と女が二百四十五人いた。

68 馬は七百三十六頭、騾馬は二百四十五頭、

69 らくだは四百三十五頭、ろばは六千七百二十頭であった。

70 父の家の長たちのうち、工事のためにささげる者がいた。総督は宝物倉に、金一千ダリク[†]、鉢五十個、祭司の衣服五百三十着をささげた。

71 父の家の長たちのうち、工事の宝物倉に金二万ダリクと、銀二千二百ミナ[‡]をささげる者たちがいた。

72 残りの民がささげたものは、金二万ダリク、銀二千ミナ、祭司の衣服六十七着であった。

[†] 7:707:70 ダリクはペルシア王が発行した金貨で、一枚約8.4グラム、または約0.27トロイオンスである。

[‡] 7:717:71 ミナは約600グラム、または約1.3ポンドである。二千二百ミナは約1.3トンである。

⁷³ こうして、祭司、レビ人、門衛、歌うたい、民の一部、宮のしもべたち、および全イスラエルは、それぞれ自分の町に住んだ。

第七の月になると、イスラエルの子らは自分たちの町々にいた。

8

¹ 民は皆、一人の人のように、水の門の前の広場に集まった。そして、主がイスラエルに命じられたモーセの律法の書を持って来るよう、書記エズラに求めた。

² 祭司エズラは、第七の月の第一日に、男も女も、聞いて理解できるすべての者のいる会衆の前に律法を持って来た。

³ 彼は水の門の前の広場で、夜明けから真昼まで、男、女、理解できる者たちの前でそれを読み上げた。民は皆、律法の書に耳を傾けた。

⁴ 書記エズラは、このために造られた木の演壇の上に立った。右にはマティトヤ、シェマ、アナヤ、ウリヤ、ヒルキヤ、マアセヤが立ち、左にはペダヤ、ミシャエル、マルキヤ、ハシュム、ハシュバダナ、ゼカリヤ、メシュラムが立った。

⁵ エズラはすべての民の目の前でその書を開いた（彼はすべての民よりも高い所にいたからである）。彼がそれを開くと、すべての民は立ち上がった。

⁶ エズラは大いなる神、主をほめたたえた。

民は皆、手を上げて「アーメン、アーメン」と答え、頭を垂れ、顔を地に伏せて主を礼拝した。

⁷ エシュア、バニ、シェレブヤ、ヤミン、アクブ、シャベタイ、ホディヤ、マアセヤ、ケリタ、アザルヤ、ヨザバド、ハナン、ペラヤなどのレ

レビ人は、民に律法を悟らせた。民はそれぞれの場所に立っていた。

⁸ 彼らは神の律法の書を明瞭に読み、その意味を説き明かしたので、民は読まれたことを理解した。

⁹ 総督ネヘミヤ、祭司であり書記であるエズラ、民を教えていたレビ人たちは、すべての民に言った。「今日は、あなたがたの神、主に聖なる日である。悲しんではならない。泣いてはならない。」民は律法の言葉を聞いて泣いていたからである。

¹⁰ さらに彼は言った。「行って、脂の乗ったものを食べ、甘いものを飲み、何も用意できない者には分け前を送りなさい。今日は私たちの主に聖なる日である。悲しんではならない。主から来る喜びが、あなたがたの力である。」

¹¹ レビ人たちは民を静めて言った。「静まりなさい。この日は聖なる日だ。悲しんではならない。」

¹² 民は皆、食べ、飲み、分け前を送り、大いに祝うために出て行った。告げられた言葉を理解したからである。

¹³ 二日目に、すべての民の父の家の長たち、祭司、レビ人が、律法の言葉をさらに理解するため、書記エズラのもとに集まった。

¹⁴ 彼らは律法の中に、主がモーセを通して、イスラエルの子らに、第七の月の祭りの間は仮庵に住むよう命じられたことを見いだした。

¹⁵ また、すべての町とエルサレムで、次のように知らせ、布告すべきことも見いだした。

「山へ出て、オリーブの枝、野生のオリーブの枝、ミルトスの枝、なつめやしの枝、葉の茂った木の枝を持って来て、書かれているとおりに仮庵*を作れ。」

* 8:15 8:15 または「小屋」。

16 そこで民は出て行って枝を持ち帰り、それぞれ自分の家の屋上、中庭、神の家の庭、水の門の広場、エフライムの門の広場に仮庵[†]を作った。

17 捕囚から帰った者たちの会衆は皆、仮庵[‡]を作り、その中に住んだ。ヌンの子ヨシュアの時代からその日まで、イスラエルの子らはこのように行っていなかった。そこには非常に大きな喜びがあった。

18 エズラは第一日から最後の日まで、毎日、神の律法の書を読み上げた。彼らは七日間祭りを祝い、八日目には定めに従って厳粛な集会を開いた。

9

1 この月の第二十四日に、イスラエルの子らは断食し、荒布をまとい、土をかぶって集まった。

2 イスラエルの子孫はすべての異国人から離れ、立って、自分たちの罪と先祖の咎を告白した。

3 彼らはその場に立ち、一日の四分の一は彼らの神、主の律法の書を読み、もう四分の一は罪を告白して、彼らの神、主を礼拝した。

4 レビ人エシュア、バニ、カドミエル、シェバニヤ、ブニ、シェレブヤ、バニ、ケナニは階段の上に立ち、彼らの神、主に大声で叫び求めた。

5 それから、レビ人エシュア、カドミエル、バニ、ハシャブネヤ、シェレブヤ、ホデイヤ、シェバニヤ、ペタフヤが言った。「立ち上がり、とこしえからとこしえまで、あなたがたの神、主をほめたたえよ。栄光に満ちたあなたの御名はほめたたえられよ。その御名は、すべての祝福と賛美を超えて高く上げられている。

[†] 8:16 8:16 または「小屋」。

[‡] 8:17 8:17 または「小屋」。

6 あなたこそ主、ただあなただけ。あなたは天と、天の天と、そのすべての万象、地とその上にあるすべてのもの、海とその中にあるすべてのものを造られた。あなたはそれらすべてを生かしておられる。天の万象はあなたを礼拝する。

7 あなたこそ主なる神。アブラムを選び、カルデヤ人のウルから導き出し、アブラハムという名を与えられた。

8 あなたは彼の心が御前に忠実であることを認め、カナン人、ヒッタイト人、アモリ人、ペリジ人、エブス人、ギルガシ人の地を彼の子孫に与えたとの契約を結ばれた。そして御言葉を果たされた。あなたは正しい方だからである。

9 「あなたはエジプトにいた私たちの先祖の苦しみを見、紅海のほとりで彼らの叫びを聞かれた。

10 ファラオと、そのすべてのしもべ、その地のすべての民に対して、しるしと不思議を行われた。彼らが先祖たちに対して高慢に振る舞ったことを知っておられたからである。こうして、今日あるとおり、ご自身の名を高くされた。

11 あなたは彼らの前で海を分け、彼らは海の中の乾いた地を渡った。追う者たちを、激しい水に投げ込まれる石のように、深みに投げ込まれた。

12 昼は雲の柱で彼らを導き、夜は火の柱で、進むべき道を照らされた。

13 「あなたはシナイ山に下り、天から彼らに語り、正しい定め、真実な律法、良い掟と戒めを与えられた。

14 聖なる安息日を知らせ、しもべモーセを通して、戒めと掟と律法を命じられた。

15 飢えた彼らに天からパンを与え、渇く彼らのために岩から水を出された。また、与えると誓われ

た地へ入って所有するよう命じられた。

16 「しかし彼ら、すなわち私たちの先祖は高慢に振る舞い、うなじを固くし、あなたの戒めに聞き従わなかった。

17 彼らは従うことを拒み、その間で行われた不思議を心に留めず、うなじを固くし、反逆して、奴隷の身に戻るための指導者を立てた。しかしあなたは、赦しに富む神、恵み深く、あわれみ深く、怒るのに遅く、慈しみに満ちた方。彼らを見捨てられなかった。

18 彼らが鋳物の子牛を造り、『これが、あなたをエジプトから導き上った神だ』と言い、ひどい冒瀆を重ねたときでさえ、

19 あなたは豊かなあわれみにより、荒野で彼らを見捨てられなかった。昼は雲の柱が彼らの上を離れず、道を導いた。夜は火の柱が離れず、進むべき道を照らした。

20 彼らを教えるためにあなたの良き御霊を与え、彼らの口からマナを取り去らず、渇きのために水を与えられた。

21 「四十年の間、あなたは荒野で彼らを養われた。彼らには何一つ欠けず、衣はすり切れず、足も腫れなかった。

22 さらに、王国と諸国の民を彼らに与え、それぞれの領地として分けられた。彼らはシホンの地、ヘシュボンの王の地と、バシヤンの王オグの地を所有した。

23 その子らを空の星のように増やし、先祖たちに、入って所有せよと言われた地へ導き入れられた。

24 「子らは入って地を所有した。あなたはその地の住民カナン人を彼らの前に屈服させ、王たち

も地の民も彼らの手に渡し、思いのままに扱わせた。

25 彼らは城壁のある町々と肥沃な地を取り、あらゆる良いもので満ちた家、掘られた貯水槽、ぶどう園、オリーブ園、豊かな果樹を所有した。彼らは食べて満ち足り、太り、あなたの大いなる恵みを喜び楽しんだ。

26 「それでも彼らは不従順となり、あなたに逆らい、律法を背後に投げ捨て、あなたに立ち返らせようと警告した預言者たちを殺し、ひどい冒瀆を重ねた。

27 そこであなたは、彼らを苦しめる敵の手に渡された。苦難のとき、彼らが叫び求めると、あなたは天から聞き、豊かなあわれみによって救う者たちを与え、敵の手から救い出された。

28 しかし安息を得ると、彼らは再び御前に悪を行った。それであなたは彼らを敵の手に任せ、敵に支配させられた。それでも彼らが立ち返って叫び求めると、天から聞き、あわれみによって幾度も救い出された。

29 彼らを律法に立ち返らせようと警告された。しかし彼らは高ぶり、戒めに聞き従わず、定めに背いて罪を犯した。人はそれを行うなら、それによって生きるのに。彼らは背を向け、うなじを固くし、聞こうとしなかった。

30 長い年月、あなたは彼らを忍び、預言者たちを通して、あなたの霊によって警告された。それでも彼らは耳を傾けなかった。それゆえ、その地の諸国の民の手に渡された。

31 「それでも、豊かなあわれみによって、彼らを滅ぼし尽くさず、見捨てられなかった。あなたは恵み深く、あわれみ深い神だからである。

32 それゆえ今、私たちの神よ。大いなる、力

強い、恐るべき神、契約と慈しみを守られる方よ。アッシリアの王たちの時代から今日まで、私たちと、私たちの王、君、祭司、預言者、先祖、あなたのすべての民に臨んだ苦難を、どうか小さなことと見なさないでください。

³³ 私たちに臨んだすべてのことにおいて、あなたは正しい。あなたは真実を行われたが、私たちは悪を行った。

³⁴ 私たちの王、君、祭司、先祖は、あなたの律法を守らず、戒めにも、彼らに与えられた警告にも耳を傾けなかった。

³⁵ 彼らは自分たちの王国にあっても、あなたが与えられた大いなる恵みの中でも、彼らの前に与えられた広く肥沃な地にあっても、あなたに仕えず、悪い行いから立ち返らなかった。

³⁶ 「見よ、私たちは今日、しもべとなっている。先祖たちに、その実と良いものを食べるために与えられた地で、見よ、私たちはしもべとなっている。

³⁷ この地は、私たちの罪のゆえにあなたが立てられた王たちのために、多くの実りを生み出している。彼らは思いのままに、私たちの体と家畜を支配している。私たちは大きな苦難の中にいる。

³⁸ このすべてのゆえに、私たちは確かな契約を結んで書き記し、指導者たち、レビ人、祭司たちがこれに印を押す。」

10

¹ 印を押した者は次のとおりである。ハカリヤの子である総督ネヘミヤ、ゼデキヤ、

² セラヤ、アザルヤ、エレミヤ、

³ パシュフル、アマルヤ、マルキヤ、

⁴ ハトシュ、シェバニヤ、マルク、

⁵ ハリム、メレモテ、オバデヤ、

6 ダニエル、ギネトン、バルク、
7 メシュラム、アビヤ、ミヤミン、
8 マアズヤ、ビルガイ、シェマヤ。以上が祭司であつた。

9 レビ人は、アザニヤの子エシュア、ヘナダデの子らのうちのビヌイ、カドミエル、

10 そして彼らの兄弟であるシェバニヤ、ホディヤ、ケリタ、ペラヤ、ハナン、

11 ミカ、レホブ、ハシャビヤ、

12 ザクル、シェレブヤ、シェバニヤ、

13 ホディヤ、バニ、ベニヌ。

14 民の長たちは、パロシュ、パハテ・モ阿布、エラム、ザト、バニ、

15 ブニ、アズガド、ベバイ、

16 アドニヤ、ビグワイ、アディン、

17 アテル、ヒゼキヤ、アズル、

18 ホディヤ、ハシュム、ベザイ、

19 ハリフ、アナトテ、ノバイ、

20 マグピアシュ、メシュラム、ヘジル、

21 メシェザベル、ザドク、ヤドウア、

22 ペラテヤ、ハナン、アナヤ、

23 ホセア、ハナニヤ、ハシュブ、

24 ハロヘシュ、ピルハ、ショベク、

25 レフム、ハシャブナ、マアセヤ、

26 アビヤ、ハナン、アナン、

27 マルク、ハリム、バアナ。

28 残りの民、祭司、レビ人、門衛、歌うたい、宮のしもべたち、およびその地の諸国の民から離れて神の律法に従ったすべての者、その妻、息子、娘、すなわち知識と理解のある者は皆、

29 兄弟である貴族たちに加わり、違反すればのろいを受けるとの誓いを立てた。それは、神のしもべモーセによって与えられた神の律法に歩み、私たち

の主、主のすべての戒め、定め、掟を守り行うとの誓いであつた。

³⁰ また、自分たちの娘をその地の民の息子に与えず、自分たちの息子のために彼らの娘を迎えないこと、

³¹ その地の民が安息日に品物や穀物を売りに来ても、安息日や聖なる日には買わないこと、第七年には土地を休ませ、あらゆる負債の取り立てを免除することを誓った。

³² また私たちは、自分たちの神の家の奉仕のため、年ごとに三分の一シェケル^{*}をそれぞれ負担するとの定めを設けた。

³³ それは、供えのパン、常供の穀物のささげ物、常供の全焼のささげ物、安息日、新月祭、定められた祭り、聖なる物、イスラエルの贖罪のための罪のささげ物、および私たちの神の家のすべての働きのためである。

³⁴ 私たち、祭司、レビ人、民は、薪のささげ物についてくじを引き、律法に書かれているとおり、私たちの神、主の祭壇で燃やすため、父の家ごとに、年々定められた時期に、神の家へ持って来ることにした。

³⁵ また、土地の初穂と、あらゆる木の実の初物を、年ごとに主の家へ持って来ること、

³⁶ 律法に書かれているとおり、息子たちの初子、家畜の初子、牛と羊の群れの初子を、私たちの神の家で仕える祭司たちのもとへ持って来ること、

³⁷ 練り粉の初物、奉納物、あらゆる木の实、新しいぶどう酒と油を、祭司たちのもとへ、私たちの神の家の部屋へ持って来ること、また土地の十

^{*} **10:32 10:32** 一シェケルは約10グラム、または約0.35オンスである。

分の一をレビ人に渡すことにした。レビ人が、すべての農村で十分の一を受け取るからである。

³⁸ レビ人が十分の一を受け取る時には、アロンの子孫である祭司がともにいなければならない。レビ人は十分の一のさらに十分の一を、私たちの神の家の宝物倉の部屋へ運び上げなければならない。

³⁹ イスラエルの子らとレビの子らは、穀物、新しいぶどう酒、油の奉納物を、聖所の器が置かれ、仕える祭司、門衛、歌うたいがいる部屋へ持って来るからである。私たちは、私たちの神の家を見捨てない。

11

¹ 民の指導者たちはエルサレムに住んだ。残りの民はくじを引き、十人に一人を聖なる町エルサレムに住ませ、残る九人をほかの町々に住ませた。

² 民は、自ら進んでエルサレムに住もうとしたすべての人を祝福した。

³ エルサレムに住んだ州の長たちは次のとおりである。一方、ユダの町々では、イスラエル人、祭司、レビ人、宮のしもべたち、ソロモンのしもべたちの子らが、それぞれ自分の町の所有地に住んだ。

⁴ エルサレムには、ユダの子らとベニヤミンの子らの一部が住んだ。ユダの子らのうちでは、ペレツの子孫であるマハラレルの子シェファテヤの子アマルヤの子ゼカリヤの子ウジヤの子アタヤ、

⁵ また、シロ人の子孫であるゼカリヤの子ヨヤリブの子アダヤの子ハザヤの子コル・ホゼの子バルクの子マアセヤ。

⁶ エルサレムに住んだペレツの子らは、合わせて四百六十八人の勇士であった。

7 ベニヤミンの子らは次のとおりである。エシヤヤの子イティエルの子マアセヤの子コラヤの子ペダヤの子ヨエドの子メシュラムの子サル、

8 その後にはガバイとサライ。合わせて九百二十八人。

9 ジクリの子ヨエルが彼らの監督であり、ハセヌアの子ユダが町の副責任者であった。

10 祭司のうちでは、ヨヤリブの子エダヤ、ヤキン、

11 アヒトブの子メライオテの子ザドクの子メシュラムの子ヒルキヤの子セラヤ。彼は神の家の長であった。

12 また、神の家の務めを行った彼らの兄弟たち、八百二十二人。さらに、マルキヤの子パシュフルの子ゼカリヤの子アムジの子ペラルヤの子エロハムの子アダヤ、

13 および父の家の長である彼の兄弟たち、二百四十二人。また、イムルの子メシレモテの子アフザイの子アザルエルの子アマシャイ、

14 およびその兄弟である力ある勇士たち、百二十八人。ハゲドリムの子ザブディエルが彼らの監督であった。

15 レビ人のうちでは、ブニの子ハシャビヤの子アズリカムの子ハシュブの子シエマヤ。

16 また、レビ人の長たちのうち、神の家の外務を監督したシャベタイとヨザバド。

17 また、アサフの子ザブディの子ミカの子マタヌヤ。彼は祈りで感謝を唱える際の先導者であった。さらに、兄弟たちの中で第二の者バクブクヤと、エドトンの子ガラルの子シャムアの子アブダがいた。

18 聖なる町にいたレビ人は、合わせて二百八十四人であった。

19 門衛は、アクブ、タルモン、および門で見張りをした彼らの兄弟たち、百七十二人。

20 残りのイスラエル人、祭司、レビ人は、ユダのすべての町々で、それぞれ自分の相続地に住んだ。

21 宮のしもべたちはオフエルに住み、ツイハとギシュパが宮のしもべたちを監督していた。

22 エルサレムにおけるレビ人の監督は、バニの子ウジであった。ウジはハシャビヤの子、ハシャビヤはマタヌヤの子、マタヌヤはミカの子であり、神の家の奉仕を担うアサフの子孫の歌うたいたちに属していた。

23 歌うたいたちについては王の命令があり、日ごとに定められた分が与えられていた。

24 ユダの子ゼラの子孫、メシェザベルの子ペタフヤは、民に関するすべての事柄について王のもとで取り次ぐ者であった。

25 畑のある村々について言えば、ユダの子らの一部は、キルヤテ・アルバとその周辺の町、ディボンとその周辺の町、エカブツェエルとその村々、

26 エシュア、モラダ、ベテ・ペレト、

27 ハツアル・シュアル、ベエル・シェバとその村々、

28 ツィクラグ、メコナとその村々、

29 エン・リンモン、ツオルア、ヤルムテ、

30 ザノア、アデュラムとその村々、ラキシユとその畑、アゼカとその周辺の町に住んだ。こうして彼らはベエル・シェバからヒンノムの谷まで居住した。

31 ベニヤミンの子らも、ゲバから先、ミクマス、アヤ、ベテルとその周辺の町、

32 アナトテ、ノブ、アナニヤ、

33 ハツオル、ラマ、ギタイム、

34 ハデイド、ツェボイム、ネバラテ、

- 35 ロド、オノ、職人の谷に住んだ。
36 レビ人のうち、ユダにいたいくつかの組は、ベニヤミンの地に住んだ。

12

- 1 シェアルティエルの子ゼルバベルとエシュアとともに上って来た祭司とレビ人は次のとおりである。セラヤ、エレミヤ、エズラ、
2 アマルヤ、マルク、ハトシュ、
3 シェカニヤ、レフム、メレモテ、
4 イド、ギネトイ、アビヤ、
5 ミヤミン、マアデヤ、ビルガ、
6 シエマヤ、ヨヤリブ、エダヤ、
7 サル、アモク、ヒルキヤ、エダヤ。彼らはエシュアの時代の祭司と、その兄弟たちの長であった。
8 レビ人は、エシュア、ビヌイ、カドミエル、シエレブヤ、ユダ、そして感謝の歌を取り仕切るマタヌヤと、その兄弟たちであった。
9 彼らの兄弟バクブクヤとウノは、それぞれの務めの組で彼らと向かい合っていた。
10 エシュアにヨヤキムが生まれ、ヨヤキムにエリアシブが生まれ、エリアシブにヨヤダが生まれ、
11 ヨヤダにヨナタンが生まれ、ヨナタンにヤドゥアが生まれた。
12 ヨヤキムの時代に、祭司であり父の家の長であった者は次のとおりである。セラヤの家ではメラヤ、エレミヤの家ではハナニヤ、
13 エズラの家系ではメシュラム。アマルヤの家系ではエホハナン。
14 マルキの家系ではヨナタン。シェバニヤの家系ではヨセフ。
15 ハリムの家系ではアデナ。メラヨテの家系ではヘルカイ。

16 イドの家系ではゼカリヤ。ギネトンの家系ではメシュラム。

17 アビヤの家ではジクリ、ミンヤミンの家では、またモアデヤの家ではピルタイ、

18 ビルガの家系ではシャムア。シェマヤの家系ではエホナタン。

19 ヨヤリブの家系ではマテナイ。エダヤの家系ではウジ。

20 サライの家系ではカライ。アモクの家系ではエベル。

21 ヒルキヤの家系ではハシャビヤ。エダヤの家系ではネタンエル。

22 エリアシブ、ヨヤダ、ヨハナン、ヤドゥアの時代に、レビ人の父の家の長たちが記録された。祭司たちも、ペルシア人ダレイオスの治世に記録された。

23 レビの子らで父の家の長である者たちは、エリアシブの子ヨハナンの時代に至るまで、年代記の書に記録された。

24 レビ人の長たちは、ハシャビヤ、シェレブヤ、カドミエルの子エシュアであり、兄弟たちは彼らと向かい合い、神の人ダビデの命令に従って、組ごとに賛美と感謝をささげた。

25 マタヌヤ、バクブクヤ、オバデヤ、メシュラム、タルモン、アクブは門衛で、門にある倉を見張っていた。

26 これらの者は、エホツァダクの子エシュアの子ヨヤキムの時代、また総督ネヘミヤと、祭司であり書記官であるエズラの時代にいた。

27 エルサレムの城壁の奉献式にあたり、彼らは各地からレビ人を捜し出してエルサレムへ連れて来た。感謝と歌、シンバル、弦楽器、豎琴をもつて、喜びのうちに奉献式を行うためであった。

28 歌うたいたちの子らは、エルサレム周辺の平地とネトファ人の村々から集まった。

29 またベテ・ギルガルから、そしてゲバとアズマベテの畑からも集まった。歌うたいたちはエルサレムの周囲に自分たちのための村々を建てていたからである。

30 祭司とレビ人は自らをきよめ、民、門、城壁をもきよめた。

31 それから私はユダの指導者たちを城壁の上に上らせ、感謝をささげながら行進する二つの大きな隊を任命した。一隊は城壁の上を右へ進み、糞の門に向かった。

32 彼らの後にはホシャヤと、ユダの指導者たちの半数が続いた。

33 またアザルヤ、エズラ、メシュラム、

34 ユダ、ベニヤミン、シェマヤ、エレミヤもいた。

35 祭司の子らの何人かはラッパを持っていた。すなわち、アサフの子ザクルの子ミカヤの子マタヌヤの子シェマヤの子ヨナタンの子ゼカリヤ、

36 および彼の兄弟シェマヤ、アザルエル、ミラライ、ギラライ、マアイ、ネタンエル、ユダ、ハナニである。彼らは神の人ダビデの楽器を持ち、書記エズラが先頭に立った。

37 泉の門のところで、彼らはまっすぐダビデの町の階段を上り、城壁の上り口からダビデの家の上をとおり、東の水の門まで進んだ。

38 感謝をささげるもう一つの隊は、彼らに向かって進み、私は民の半数とともにその後に従った。城壁の上を、かまどのやぐらの上から広い城壁まで進み、

39 エフライムの門の上、古い門、魚の門、ハナネルのやぐら、ハメアのやぐらをとおり、羊の門まで進んだ。そして監視の門で立ち止まった。

40 こうして、感謝をささげる二つの隊は神の家に立ち、私も、私とともにいた役人たちの半数もそこに立った。

41 祭司であるエリアキム、マアセヤ、ミンヤミン、ミカヤ、エリョエナイ、ゼカリヤ、ハナニヤはラッパを持ち、

42 また、マアセヤ、シェマヤ、エレアザル、ウジ、エホハナン、マルキヤ、エラム、エゼルもいた。歌うたいたちは、指揮者イスラフヤのもとで声高く歌った。

43 その日、彼らは大きないけにえをささげて喜んだ。神が彼らに大きな喜びを与えられたからである。女たちも子どもたちも喜び、エルサレムの喜びの声は遠くまで聞こえた。

44 その日、宝物、奉納物、初穂、十分の一を納める部屋を管理する者たちが任命された。律法によって祭司とレビ人に定められた分を、町々の畑からその部屋へ集めるためであった。ユダの人々は、務めに就く祭司とレビ人を喜んでいた。

45 彼らは神への務めと、きよめの務めを守った。歌うたいと門衛も、ダビデとその子ソロモンの命令に従って務めを守った。

46 昔、ダビデとアサフの時代には、歌うたいたちの長がおり、神への賛美と感謝の歌があった。

47 ゼルバベルの時代とネヘミヤの時代に、全イスラエルは歌うたいと門衛に、日ごとに必要な分を与えた。またレビ人の分を聖別し、レビ人はアロンの子らの分を聖別した。

13

1 その日、民の聞くところでモーセの書が読まれ、その中に、アンモン人とモアブ人は永遠に神の会衆に加わってはならないと書かれているのが見つかった。

2 彼らがパンと水をもってイスラエルの子らを迎えず、バラムを雇って彼らをのろわせようとしたからである。しかし、私たちの神はそののろいを祝福に変えられた。

3 民は律法を聞くと、入り混じった者たちをすべてイスラエルから分けた。

4 これより前、私たちの神の家の部屋を管理していた祭司エリアシブは、トビヤと縁戚関係にあり、

5 彼のために大きな部屋を用意していた。そこには以前、穀物のささげ物、乳香、器、また命令によってレビ人、歌うたい、門衛に与えられる穀物、新しいぶどう酒、油の十分の一と、祭司たちへの奉納物が置かれていた。

6 この間、私はエルサレムにいなかった。バビロンの王アルタクセルクセスの第三十二年に、王のものとへ行っていたからである。しばらくして王に暇を願い、

7 エルサレムに戻った。そして、エリアシブがトビヤのために神の家の庭に部屋を用意した悪事を知った。

8 私はひどく心を痛め、トビヤの家財道具をすべて部屋の外へ投げ出した。

9 私は命じて部屋をきよめさせ、神の家の器、穀物のささげ物、乳香を再びそこへ戻した。

10 また私は、レビ人の分が与えられていなかったため、務めに就いていたレビ人と歌うたいが、それぞれ自分の畑へ帰ってしまったことを知った。

11 そこで私は役人たちを責めて言った。「なぜ神の家が見捨てられているのか。」私は彼らを集め、元の持ち場に就かせた。

12 すると全ユダが、穀物、新しいぶどう酒、油の十分の一を宝物倉に持って来た。

13 私は宝物倉の管理者に、祭司シェレミヤ、書記ツアドク、レビ人ペダヤを任命し、その補佐にマタヌヤの子ザクルの子ハナンを置いた。彼らは忠実であると認められており、兄弟たちに分配するのがその務めであった。

14 私の神よ、このことについて私を覚え、私の神の家とその務めのために行った慈しみの業を、ぬぐい去らないでください。

15 そのころ私はユダで、安息日にぶどう搾り場を踏む者、穀物の束を運び、ろばに積む者を見た。また彼らは、ぶどう酒、ぶどう、いちじく、あらゆる荷を安息日にエルサレムへ運び込んでいた。私は、彼らが食物を売っていたその日に警告した。

16 そこにはツロの人々も住んでおり、魚やあらゆる品物を持ち込み、安息日にエルサレムでユダの子らに売っていた。

17 そこで私はユダの貴族たちを責めて言った。「安息日を汚すとは、あなたがたのしているこの悪事は何か。

18 あなたがたの先祖もこのように行い、私たちの神は、このすべての災いを私たちとこの町にもたらされたではないか。それなのに、あなたがたは安息日を汚し、イスラエルに対する御怒りをさらに増している。」

19 安息日に先立ち、エルサレムの門に影が落ち始めると、私は扉を閉じるよう命じ、安息日が終わるまで開けてはならないと命じた。また、しもべの何人かを門に配置し、安息日に荷が運び込まれないようにした。

20 そのため、商人やあらゆる品物を売る者たちは、一度か二度、エルサレムの外で夜を過ごした。

21 私は彼らに警告して言った。「なぜ城壁の前で夜を過ごすのか。もう一度するなら、力づくで追い払う。」そのとき以来、彼らは安息日には来なくなった。

22 私はレビ人に、自らをきよめ、来て門を守り、安息日を聖なるものとするよう命じた。私の神よ、このことについても私を覚え、あなたの大きいなる慈しみによって、私をあわれんでください。

23 そのころまた、私はアシュドド人、アンモン人、モアブ人の女を妻に迎えたユダヤ人たちを見た。

24 その子どもたちは半分ほどアシュドドの言葉を話し、ユダヤ人の言葉を話せず、それぞれの民の言葉を話していた。

25 私は彼らを責め、のろい、何人かを打ち、その髪を引き抜いた。そして神にかけて誓わせて言った。「あなたがたの娘を彼らの息子に与えてはならない。あなたがたの息子のためにも、自分自身のためにも、彼らの娘を迎えてはならない。」

26 イスラエルの王ソロモンは、これらのことによって罪を犯したのではないか。多くの国々の中に彼のような王はおらず、彼は神に愛され、神は彼を全イスラエルの王とされた。それでも異国の女たちは、彼にさえ罪を犯させた。

27 それなのに、あなたがたが異国の女を妻に迎え、私たちの神に背いて、この大きな悪を行うのを、私たちが聞き入れてよいだろうか。」

28 大祭司エリアシブの子ヨヤダの息子の一人は、ホロニ人サンバラテの婿であった。そのため私は彼を追い払った。

29 私の神よ、彼らを覚えてください。彼らは祭司の職と、祭司およびレビ人の契約を汚した。

30 こうして私は、異国人との関わりをすべて取り除いて彼らをきよめ、祭司とレビ人に、それぞれの務めを定めた。

31 また、定められた時期に薪のささげ物と初穂を持って来るようにした。私の神よ、どうか私を覚え、恵みを施してください。

フリーダム・バイブル
**The Holy Bible in the Japanese Language, Freedom
Bible translation**

Public Domain

Language: 日本語 (Japanese)

この聖書翻訳には著作権が設定されていません。この聖書翻訳の公式な配布元は eBible.org です。これは翻訳の草案です。この聖書翻訳をより良いものにするため、改善のご提案を ebible.org+jpnm@gmail.com までお寄せください。

2026-07-24

PDF generated using Haiola and XeLaTeX on 29 Jul 2026 from source files dated 24 Jul 2026

8daadcbf-1b7a-51a2-98ce-7e95a9e95424